



# 危機管理のできる国に

衆議院議員 日本医科大学特任教授 千葉県医師会理事

# 松本ひさし通信

MATSUMOTO Hisashi, MD, PhD, MBA

〈発行〉 自由民主党千葉県第13選挙区支部 〒270-1345 千葉県印西市船尾1380-2 TEL: 0476-29-5099 FAX: 0476-85-4199

討議資料

## 2年間の活動とこれからの展望

令和3年10月の第49回総選挙での初当選から2年が経過しました。この間、岸田政権の下で主として医療政策に関わってきましたが、今号の松本ひさし通信は、この2年間の活動を総括するとともに、これからの国会議員としての政策や展望についてお話をしたいと思います。

### 13回の委員会質問、12回の陳情対応

これまでに予算委員会、内閣委員会、厚生労働委員会において、計13回の委員会質問に立ちました。この中には、今年1月の通常国会での全閣僚が出席して行われる予算委員会初日の基本的質疑(TV中継)も含まれます。

先の選挙で公約に掲げた災害時医療派遣チーム(DMAT)の法制化については、昨年の予算委員会厚生労働分科会での私の質問が契機となつて、同年の臨時国会で医療法が改正され、達成することができました。また、薬剤の迅速な承認や感染症対策の司令塔の必要性も訴えましたが、これらも薬機法や内閣法の改正によつて緊急承認制度の創設、内閣感染症危機管理統括庁の設置を果たすことができました。特に後者においては、岸田総理を含めて計3回の委員会質問を行い、その組織のあり方の決定に大きく関与しました。

公約では他に、創薬等の科学技術研究への投資強化を掲げましたが、自民党の科学技術・イノベーション戦略調査会における「医療分野の研究に関する小委員会」の事務局長として、先進的研究開発戦略センターでのワフチン・新規モダリティ研究開発事業への予算獲得に注力しました。

さらに、危機時における医療界の統合の仕組みづくりについては、これまでに日本病院会と全日本病院協会の顧問に就任するとともに、日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本看護協会、日本理学療法士協会と極めて

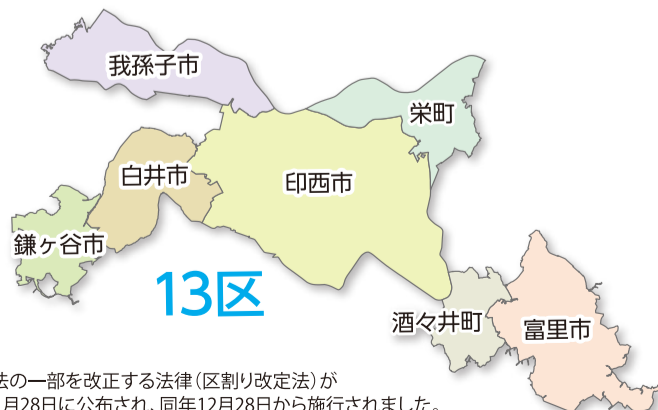


月に一度の朝食勉強会で熱弁

良好な関係を構築できました。次の目標は、これら組織間における国民の健康危機時への共通目標の確立です。

私の選挙区(千葉県第13選挙区)を横串に貫く北千葉道路の建設に関しては、最重要課題として、関係する地元市長とともに国土交通省、財務省に足を運び、防災・国土強靱化と輸送力強化など、その必要性についての説明を行ってきました。地元自治体と千葉県とともに、早期開通に向け戦略的な活動を進めたいと思っています。さらには印旛沼関連事業をはじめ、地元の課題に対して12回の陳情を受け、このうち国土交通省や総務省に計6回足を運びました。省庁への陳情に際しては、私はただ「お願い」をするだけでなく、国会議員の視点から「どう国益に資するのか」を説明することを常に心がけています。

### 衆議院小選挙区 千葉県第13区



公職選挙法の一部を改正する法律(区割り改定法)が令和4年11月28日に公布され、同年12月28日から施行されました。

## 自民党 党員募集!

### 自民党の挑戦に、あなたの力を

誇りと活力のある日本を創り上げ、次の世代へと引き渡していく責任を、自民党は全力で果たしていきます。ぜひ党員になって、私とともに日本の明日を切り拓いていきましょう。

#### ○自民党総裁選の選挙権があります!

総裁選挙の前2年継続して党費を納めた党員の方は、総裁選挙の有権者になります。

#### ○毎年、機関紙「自由民主」党員版をお届けします!

党大会の様様や一年間の運動方針などを掲載した、機関紙「自由民主」党員版をお送りします。(家族党員を除く)

※詳しくは、ホームページまたは 松本ひさし事務所までお問い合わせください。

# 3つの課題

私の政策領域は厚生労働分野だけではありません。この2年間、①〈財政金融政策〉②〈安全保障〉③〈憲法改正〉の3つの課題について、特に力を入れて勉強を進めてきました。

①〈財政金融政策〉についてはもっとも時間を費やしました。安倍政権の内閣官房参与だった本田悦朗先生に師事し、今では「責任ある積極財政を推進する議員連盟」の役員として、自民党や政府に提言を行っています。強い日本経済の復活は国民生活の安定のためには不可欠です。今はまだ財政健全化よりも安定的な経済成長を目指すべきと心得て、仲間とともに成すべき財政金融政策についての議論を進めています。

# 2025展望

さて、1期目の任期残り2年、そして2期目に向けての展望—私の実行したい政策—を示したいと思います。

- (1)国民の生命と財産を守るため
- (a)生活を堅固にするための国土、食料、産業、エネルギーの3つの安全保障を確立する、
  - (b)大自然災害や感染症、パンデミックに対する国の危機管理態勢を盤石にする、
  - (c)危機に強い国づくりのための憲法改正を成し遂げる。
- (2)強い経済社会の復活に向けて
- (a)金融緩和と積極財政政策による安定した



国会見学の小学生たちに説明



白井市の梨、おいしい!



農家さんとのふれ合い



白井市神々廻の鳥見神社で



印西市六軒の厳島神社の祭礼に

②〈安全保障〉では、わが国の防衛力強化について、第2次安倍政権時代に成立した平和安全法制の知識取得に始まって、今年7月に台湾有事政策シミュレーションにオブザーバー参加したことで、現在は台湾有事とこれに伴う南西諸島の防衛を中心に、種々の事態認定と日米安全保障条約や国民保護法との関連性を考えています。

また、昨年末に発表された国家安全保障三文書のうち、国家防衛戦略と防衛力整備計画には「自衛隊衛生の変革」という章が設けられ、負傷した自衛隊員の命を救うための、自衛隊における戦傷外科診療能力の抜本的向上が謳われました。このことは今まで誰も気づかなかった、忘れられていたわが国の安全保障の課題でしたが、私が自民党

の安全保障調査会で強く主張し、そのまま反映されることになりました。

③〈憲法改正〉は、現憲法の成立の背景から、何故改正が必要なのか、何を改正すべきか、そのための理論構築について、突っ込んだ勉強を進めてきました。平時の法律では迅速に対応することが困難です。「緊急時」への切り換えが可能となるよう、憲法に緊急事態条項の設置が必要です。現在、衆議院の憲法審査会では、「衆議院議員の任期延長」や「参議院の緊急集会の範囲」が議論されていますが、これにとどまらず、国会の開けない状況にあっても政府が代わりに緊急の立法ができるようにしておくことこそが、緊急事態条項の本当の意義であることを主張しているところです。

「住、食、衣」が揃ってはじめて日本国民が安心して豊かな生活を送ることができる。そんな日本の国づくりを目指そうと思います。

りません。私たちの生活の基本は「住、食、衣」です。

すなわち、まずは、国民が暮らす領土・領海・領空を守り、災害に強いインフラを整備する(住)。そして、農業の再生によって食料自給率を上げ、どんな状況になっても国民が飢えることのないようにする(食)。最後は、豊かに暮らすための経済と産業、子育てと教育、医療と福祉の基盤を作る(衣)。

—JSGCを軸JpanもGps。

## 役職・所属

- 衆議院 ●厚生労働委員会 委員 ●内閣委員会 委員
- 自民党 ●国会対策委員会 委員 ●国際局 次長 ●女性局 次長 ●日本の名誉と信頼を確立するための特命委員会 事務局次長
- 自民党組織運動本部 団体総局 ●厚生関係団体委員会 副委員長 ●教育・文化・スポーツ団体委員会 副委員長
- 自民党 政務調査会 ●新型コロナウイルス等感染症対策本部 本部長補佐 ●新型コロナウイルスに関するワクチン対策プロジェクトチーム 幹事 ●国際協力調査会 事務局次長 ●文部科学部会 学校現場のいじめ撲滅プロジェクトチーム 幹事 ●科学技術・イノベーション戦略調査会 医療分野の研究に関する小委員会 事務局次長
- 自民党 憲法改正実現本部 ●「タスク・フォース」委員 兼 講師陣メンバー

## プロフィールと活動

**松本 尚** 1962年6月3日生まれ  
(まつもと ひさし)  
医学博士(金沢大学)  
経営管理修士  
(MBA, 英国Anglia Ruskin大学)

### 日本医科大学特任教授 千葉県医師会理事

日本有数の救急・外傷外科医。ドクターヘリの普及に努めこの分野の第一人者となる。ドラマ「コード・ブルー」など多数の医療ドラマを監修。産経新聞「正論」執筆メンバー。日本国を愛する真正の保守政治家。

- 1987年/金沢大学医学部卒業、第81回医師国家試験合格金沢大学医学部第2外科学教室に入局後、金沢大学病院、黒部市民病院、富山県立中央病院、国立金沢病院で外科医として勤務
- 2000年/日本医科大学救急医学教室入局。以後、日本医科大学千葉北総病院救命救急センターに勤務
- 2001年/ドクターヘリ事業の開始とともにフライトドクターとして同事業を全国に普及
- 2006年/JICA 国際緊急援助隊医療チーム登録(～2017年)
- 2009年/NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」出演
- 2011年/東日本大震災にDMATとして福島県、宮城県に出勤
- 2021年に第49回衆議院議員選挙当選(千葉県第13区)

**印西事務所** 自由民主党  
千葉県第十三選挙区支部  
〒270-1345  
千葉県印西市船尾1380-2  
TEL.0476-29-5099  
FAX.0476-85-4199

**国会事務所**  
〒100-8981  
東京都千代田区永田町2-2-1  
衆議院第一議員会館1009号室  
TEL.03-3508-7295  
FAX.03-3508-3505

松本ひさしの活動は、ホームページやSNSで発信中!



ホームページ



Twitter



Facebook



YouTube

松本ひさし 検索 matsumotohisashi.com